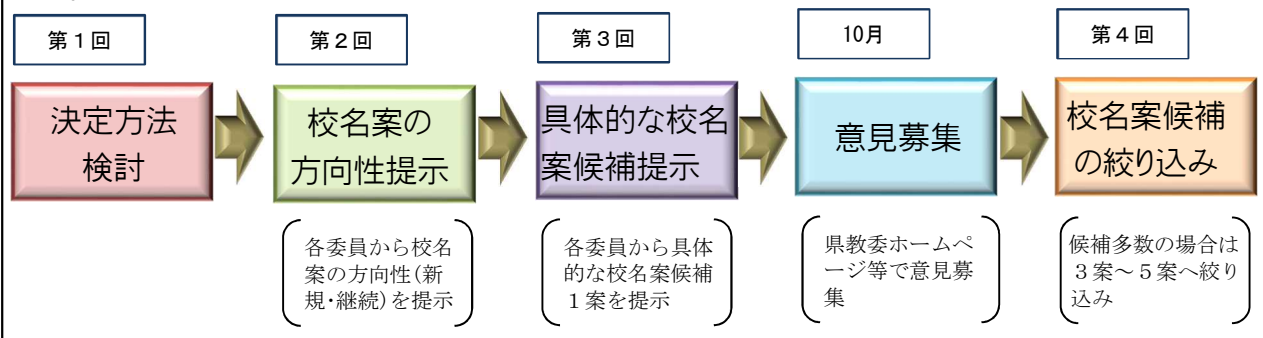


校名案の方向性について

1 校名案検討の流れ

【B案（事後意見照会方式）】

開設準備委員会委員から提示された校名案候補について県教育委員会ホームページ等で意見照会し、その結果を踏まえて開設準備委員会で校名案候補を絞り込むもの。



【参考】上北地区統合校の校名案候補に対する意見募集の結果

○意見募集期間

令和元年10月1日（火）から令和元年10月30日（水）まで（30日間）

○意見提出人数及び件数

意見提出者数	177人
校名案候補に対する意見	190件
その他校名案候補に関する意見	17件

論 点

県民等から提案があった校名案候補「三本木総合実業高等学校」を協議対象に含めるか、その取扱いについて協議するとともに、報告書に掲載する校名案候補について、県民等の意見を踏まえ協議する。

2 県民等から提案があった校名案候補

校名案候補	提案理由
三本木総合実業高等学校 (さんぼんぎそうごうじつぎょうこうとうがっこう)	名称として歴史を感じさせ重みのある「三本木」を用い、農業・商業・工業に関する科目を学ぶことができ、更に普通科が新設され、普通科の生徒が田植え体験や動物にも触れあえるなど特色ある教育活動を盛り込んだ総合型の学校となることを想定し、「総合実業」を用いたもの。「分かりやすさ、伝わりやすさを第一」に、未来ある、様々な可能性を秘めた学校であることを思って名付けた。

3 上北地区統合校の校名案候補に対する主な意見

NO	1	校名案候補	さんぼんぎあぐりふるんていあこうとうがっこう ----- 三本木アグリフロンティア高等学校
委員提案理由			
<p>○ この地域は新渡戸伝翁の開拓から始まっている。十和田市・六戸町の小・中学校では、常に開拓魂を唱え、未来の地域創生を担う子どもたちを育てている。三本木農業高校・十和田西高校・六戸高校の校歌にはそれぞれ「<u>拓き進む</u>は我等が使命」（三農）、「<u>恵みの大地拓きたる</u>先人の啓示を旨として」（十西）、「<u>みちのくの果て</u>広き野を、世々に人びと<u>開き</u>来て」（六戸）とある。地名の「三本木」に、各校の校歌に共通するテーマとする「開拓・先進」を意味する「フロンティア」と「土地・農業」を意味する接頭語「アグリ」を添えた複合語として造語した。</p>			
県民等の主な意見			
<p>○ 候補の中で1番未来に向けた名前のように感じた。これからの十和田、六戸を担う子どもたちを育成して行ってほしいという願いを込めて、この校名が良いと思った。</p> <p>○ 新鮮味がある。</p> <p>○ 合併した感じがある。</p>			

NO	2	校名案候補	さんぼんぎたくせいこうとうがっこう ----- 三本木拓生高等学校
委員提案理由			
<p>○ 歴史と伝統のある三本木農業高校の「三本木」を継承し、3校に共通する開拓精神から「拓」を、開拓の象徴である稲生川から「生」を用いるもの。稲生川は十和田西高校のある西側から取水し、三本木農業高校の前を通り、六戸高校のある東側まで大地を潤している。よって、統合校の校名にふさわしいと思う。</p>			
県民等の主な意見			
<p>○ 提案理由には3校に共通する開拓精神から「拓」を、開拓の象徴である稲生川から「生」を用いるものとあり、まさしく統合校名にふさわしいと思う。伝統校名の重みは感じるが、新しい校名と共に新入生にはそれ以上の活躍と頑張りを期待し新しい伝統のスタートを切ってほしい。</p> <p>○ 3校統合なので新しい名前の方が良い。入学する子どもや卒業生のことを考えると、普通科もあるので「農業」は付けない方が良い。</p> <p>○ 三本木農業高校、三本木拓生高校以外の候補の校名は長いし、校名に込めた意味がよく伝わらないと思う。</p>			

NO	3	校名案候補	さんぼんぎのうぎょうこうとうがっこう
			三本木農業高等学校

委員提案理由

- 他に良い校名案がなく、また、現在の通称「三農」が県内外において広く浸透しており、校名を変更するメリットがあまりないように感じられるため、無理に校名を変更することもないと思う。統合校の「中身」の変更に重点を置き、校名は変更しないということも有りうるのではないか。
- 120年以上の歴史を考えると「三本木農業高校」が良い。三本木農業高校は青森県農学校から始まったことから、「農」の言葉は外すわけにはいかない。
- 十和田西高校、六戸高校、三本木農業高校をそれぞれ一本の木と見なし、それらが集まって「三本木」とするもの。これから入学する生徒には歴史、伝統、貫禄のある「三本木農業高校」がふさわしい。
- 三本木農業高校は、伝統校であると同時に、現在もなお、上北地区内外から学校の特色に大きな期待を寄せて入学してくる生徒が多い。普通科の併設により「農業高校」という校名に違和感を覚える方もいるかとは思いますが、社会経済を支える即戦力に秀でた人材を育成するという観点から、普通科においても職業教育の特色を加味したカリキュラムを工夫すれば、普通科を有した農業高校として十分理解してもらえらるものと考えらる。
- 三本木農業高校は、高等学校教育改革推進計画第1期実施計画において、職業教育を主とする専門学科を持つ農業教育の拠点校となっていることから、農業の冠を外すことは得策でない。よって上北地区統合校は、普通科が設置されても、これまでの基本どおり地域名プラス専門学科の組み合わせによる「三本木農業高等学校」とした。
 なお、かつて三本木農業高校には農業関係学科のほかに、普通科や商業科を設置していた経緯があり、再び普通科を設置しても違和感がないこと。また、秋田県立男鹿海洋高校には普通科が、千葉県立銚子商業高校には海洋科が設置されている他県の例からも、校名は歴史や伝統、そして地域産業の背景を踏まえるべきと考えている。

県民等の主な意見

- 伝統ある学校名として残すべきだと思う（同様の意見あり）。
- 現三本木農業高校の校舎を使用するのであれば、歴史ある高校でもあるため、そのままの学校名で良いのではないかと（同様の意見あり）。
- 卒業生なので是非名前を残してほしい（同様の意見あり）。
- 歴史があり全国的に認知されている名前は残すべき（同様の意見あり）。
- 地域に定着した名前であり、この地区のシンボリックな存在である学校の名前である（同様の意見あり）。
- 六戸高校、十和西高校、三本木農業高校の3校で三本木という解釈が素敵。
- 上十三地区で最も古く、歴史と伝統があり、更に文部科学省指定農業高校ということで、この地域の主幹産業である農業を支える高校として、そのまま校名を存続してほしい（同様の意見あり）。

県民等の主な意見

- 所在地や学科など元々の三本木農業高校の特色が大きく残ること、十和田西高校と六戸高校に現在在籍している子ども達はその学校で卒業することなど、全く新しい学校を発足するわけではないので「三本木農業」の名前が残った方が、地域社会や県外、これからこの高校を受験する子ども達にとっても非常に理解しやすい。
- 統合し、普通科が開設されても農業高校であることに変わりはなく、従来のような農業高校の視点からの地域課題解決は、現在も将来的にも地域に根ざすものであると考える。したがって、統合しても先代達の地域に対する思いと活動は残していくべきである。その根本にある農業は今後も地域を支える産業になり、活性化を目指す思いも変わってはいけい。「三本木農業高校」は地域に根差している学校であり、今後もその姿を学校名と共に残すべきだと考える（同様の意見あり）。
- 簡単明瞭で分かりやすい（同様の意見あり）。
- 規模的に「三農」の名は、しっかり残していくべきだと思う。

NO	4	校名案候補	さんぼんぎのうぎょうけいたくこうとうがっこう ----- 三本木農業恵拓高等学校
----	---	-------	--

委員提案理由

- 3校に関わる地名として「三本木」が適当。農業教育を中心とした教育活動が展開されるであろうことから、「農業」はそのままであることが適当。伝統ある「三本木農業」「三農」の名を残しながら、3校の統合による新しい高校であることを考え「恵拓」を加えた。これは、六戸高校・十和田西高校の校歌に共通してある文字「恵」、3校に共通する開拓の精神から「拓」を用いたもの。

県民等の主な意見

- 歴史と伝統を勘案した場合、地域に根差した「三農」の文字を残すことは、地域の歴史にとっても重要と考える（同様の意見あり）。
- 農業教育の拠点校であるため「農業」の文字が入っていた方が良く、統合する高校に関連する文字を校名に取り入れることで3校統合による新しい高校であることがイメージできると思う（同様の意見あり）。
- 伝統ある「三本木農業」の校名を引き継ぐか、それとも新たな校名にするかがポイントだと思うが、「三本木農業」を残しつつ、新たな校名としているため、3校の関係者にとって受け入れやすい校名だと思う（同様の意見あり）。
- 三本木農業高校が他校と統合したことを少しは示せるような気がする。
- 呼びやすさを考えると、「三農」という呼び方を普段からしているので、「三農恵拓高校」でも良いのでは。
- 恵拓農業高校でも良い。

【その他の校名案候補に関する意見】

委員の意見

- 「三本木農業」の後に統合校の理念となる文字を加えてはどうか（三本木農業〇〇高校）。地名から「三本木」、農業科の拠点校であることから「農業」、これに統合校として将来へ向けての期待を込めて理念を加える。このことにより通称「三農」として継承できる（六戸高校・十和田西高校・三本木農業高校の同窓生への配慮）。

県民等の主な意見

- 「三本木総合実業高等学校」という名称を提案する。分かりやすさ、伝わりやすさを第一で検討した。
- 三本木農業高校、十和田西高校、六戸高校には長かれ短かれ歴史はある。そのような中で「三本木農業高校には120年の歴史があるから」や「名前が浸透しているから」といった理由で三本木農業高校の名前だけを残すのはどうかと思う。私自身十和田西高校出身として十和田西高校の歴史も大切にしてほしい。確かに三本木農業高校には多くの業界に多くの同窓生がいる。多数決であれば間違いなく多いだろう。これでは統合ではなく吸収といった方が正しいのではないか。これからを担う子どもたちを育てる学校として過去を大切にしつつ未来に向けた名前にしてほしいと思う。
- その高校に関わる人達が、その高校の特色等に相応しいと思える名称にしてほしい。
- 略しても「三農」の名前が残るのであれば良い（同様の意見あり）。
- 大事なのは校名変更以上に、残り続ける拠点校としての農業教育を普通科の教育にどう活かすか、という議論である。
- 青森県民は「三本木は十和田市周辺地域」と理解できるが、県外ではなじみがないため、「三本木」にこだわらなくても良いのではないか。現在名の知れた学校名を生かすか、新たな農業高校を目指すかで校名は変わるが、専門高校と理解できる校名が良い。また、通称が長くないものの方が親しみがわくのではないか。
- この学校を今後も農業系の高校として発展させるつもりなのか、普通科を中心とした高校として発展させるのかによっても、ふさわしい校名は違ってくると思うし、後者であれば「〇〇総合高校」といった名前の方が良い気がする。
- もう少しインパクトのある名前が良い。

【校名案の方向性】

--